

相模原・町田地域教育連携プラットフォーム中期計画に対する評価・点検

対象期間：2025年10月～2026年 9 月

SQ	取組概要	回答責任大学	活動指標	活動結果	評価	活動内容・評価の理由、改善点・今後に向けて
1-1	・地域における「高等教育のグランドデザイン」の検討 構成組織間で相模原・町田地域における高等教育の将来像を共有するため、当該地域における育成すべき人材像やそのために高等教育機関が果たすべき役割等について協議する。	青山学院大学	1回／年度	1回／年度	A	【内容、理由】2024年3月の全体会議にて原案を検討し承認。2026年9月の全体会議で再確認し協議することができ、ウェブサイト上に公開している。 【改善点等】今後、現状に合わせて更新する場合には、全体会議で審議することとする。
1-2	・地域ニーズの把握 地域ニーズをプラットフォームの活動に反映するため、プラットフォームの取組に対する自治体、事業者等からの意見聴取や地域住民を対象としたパブリックコメント等を実施する。	青山学院大学	1回／年度	1回／年度	B	【内容、理由】2024年度の推進会議、全体会議で内容を検討し、意見徴収のフォームをウェブサイト に設置した。 【改善点等】現状は設置したのみに留まっているため、積極的に意見徴収の案内をする等で地域ニースの把握を進めたい。
1-3	・中期計画に基づく取組の検証及び改善 プラットフォームにおける活動の適切性を担保するため、毎年度に中期計画の達成状況等を点検・評価し、その結果を公表する。	青山学院大学	1回／年度	1回／年度	A	【内容、理由】2025年9月の推進会議、全体会議にて検証および改善を実施。2026年9月の推進会議、全体会議にて検証および改善を実施。 その結果をウェブサイト に公開。 【改善点等】次期の計画にきちんと反映できるよう各実行委員会で検討する。
1-4	・リスクマネジメント体制の構築 定期的に相模原・町田地域における災害リスクについて協議する。また、地域住民を対象とした防災教育プログラムを実施する。	青山学院大学	1回／年度	1回／年度	A	【内容、理由】「相模原・町田地域教育連携プラットフォーム 防災取扱方針」に基づき、災害対策担当者の会の勉強会（FDSD研修を兼ねる）を3月に実施した。 【改善点等】継続した取り組みができるよう検討する。
2-1	・大学等間における教育連携 大学等において、単位互換制度を導入する。	青山学院大学	受講者数30名／年度	受講者数18名／年度	B	【内容、理由】共通シラバスを作成し2024年9月より履修できるよう整備している。 【改善点等】受講者数や層を分析し、満足度の高い単位互換を目指す。また、地域と連携した共同講座の開設を検討する。
2-2	・共同研究 大学等、自治体、事業者等との間で、共同研究を実施する。	桜美林大学	1件／計画期間	1 件／計画期間	A	【内容、理由】参画大学間で契約書を締結し、共同研究を実施した。 【改善点等】産業界との共同研究の可能性について引き続き検討。
2-3	・共同FD・SD 大学等において、教育改善又は教職員の資質向上に向けた研修を共同で実施する。	青山学院大学	1回／年度	3回／期間内	A	【内容、理由】共同FD・SD研修を2件実施した。 ・「相模原・町田地域の大学における学生の地域活動支援について」2025年10月 ・「防災に関する共同会議」2026年3月 ・「新入職員合同研修」2026年7月 実施報告をウェブサイト に公開。 【改善点等】アンケート結果を踏まえ、今後より満足度の高い研修の実施を目指す。
2-4	・共同IR 大学等において、学修時間や学修成果に関する共同IRを実施する。また、その結果に基づき、自治体、事業者等と教育改善に向けた協議を行う。	北里大学	1回／年度	1回／期間内	A	【内容、理由】2026年度のデータ収集においてはより学生の就職動向を明確にするために次の新規項目を設定した。 【新規項目】 1．一般企業に就職した学生のうち大企業に就職した学生数 2．学生の就職先の選定理由について 3．学生が就職先を探す手段についてデータを取りまとめ報告書を作成した。 新たな項目の設定については、事前に自治体、事業者等と共有し内容について了承をいただいた上調査を行った。新規項目を設定し前年度より具体的な就職データの収集が可能となったと判断する。 【改善等】今年度で3回目の調査となるが、来年度も引き続き行うことでプラットフォーム内の傾向等がより一層明確になることが期待でき、その結果をプラットフォームの活動に活かすことを検討する。

2-5	・施設・設備の共同利用 教育又は研究を目的とした取組のために、大学等において施設又は設備を共同利用する。	青山学院大学	1件／計画期間	3件／期間内	A	【内容、理由】以下の施設において共同利用を実施した ・青山学院大学相模原キャンパスA棟アリーナ ・相模女子大学体育館 ・北里大学白金キャンパスプラチナアリーナ（体育館） 【改善等】継続的な利用実施のための体制整備を推進する。
2-6	・人事交流 大学等、自治体、事業者等との間で、人事交流を企画又は実施する。	桜美林大学	1回／計画期間	62件の実施	A	【内容、理由】参加大学相互、及び自治体又は企業との発令を伴う人事交流を実施した。 【改善等】引き続き、事務局も含めた人事交流の可能性について検討する。
2-7	・高大連携 大学等において、相模原・町田地域の高等学校、高校生又はその保護者を対象に、共同でのニーズ調査又は広報活動を実施する。	昭和薬科大学	1回／年度	1回/期間内	A	【内容、理由】合同大学説明会開催（9月5日実施 参加者16名）、ニーズ調査、共同パンフレット作成を実施。留学生希望者対応も事前に話し合った。 【改善等】当初の開催日を悪天候により延期し、9月5日に改めてで開催した。来場者は16名であったが、全大学のブースを回ってもらえるなど、成果としては例年より高かった。引き続き、ニーズに合った合同説明会内容（テーマ等）を検討し、自治体や民間団体も巻き込んで広報活動を展開する
2-8	・教育支援活動 大学等において、相模原・町田地域の児童・生徒を対象とした公開授業、公開講座等を共同で企画・実施する。	青山学院大学	5件／年度	3件／期間内	B	【内容、理由】2026年3月、7月に地域の小学生を対象としたスポーツ体験イベントを実施し、地域の小学生約200名が参加した。また、教育活動支援活動兼地域交流イベントとして、防災展示イベントを行った。広報には自治体、各大学が協力し、当日の運営にも各大学の教職員、学生スタッフが関わった。 【改善等】今後は同様の活動を複数回行えるよう検討する。
2-9	・公開講座 大学等において、相模原・町田地域の住民を対象とした公開講座を共同で企画・実施する。	相模女子大学・相模女子大学短期大学部	10件／年度	23件／期間内	S	【内容、理由】「子育て・教育」と「健康」の2テーマを設定して、テーマに沿った講座を開催。（さがまちカレッジの講座枠を活用） 【改善等】今後も各大学で同様の講座を開講し、地域全体で受講しやすい環境づくりをする。
2-10	・キャリア形成支援プログラム 社会人を対象としたキャリア形成支援プログラムを大学等と事業者等が共同で企画又は実施する。	和泉短期大学	1件／年度	4件／期間内	A	【内容、理由】以下の4講座を企画又は実施した。 ・相模原市・相模原市高齢者福祉施設協議会後援の公開講座を実施 2026年 6月 ～ 8月 ・きらぼし銀行との連携講座を実施 2026年7月 ・相模原市、相模原市幼稚園・認定こども園協会等後援の公開講座を実施 2026年8月 ・和泉短期大学・昭和薬科大学・相模女子大学との連携講座を企画 2026年9月実施予定 【改善等】参加者数の拡大を目指し、地域と連携した広報で工夫ができるよう検討する。
2-11	・就職セミナー 相模原・町田地域への就業支援を目的とした就職セミナーを大学等と事業者等が共同で企画又は実施する。	相模女子大学・相模女子大学短期大学部	1件／年度	2件／期間内	A	【内容、理由】相模原市商工会議所、町田市商工会議所および神奈川県中小企業家同友会と協働し、相模原・町田地域での就業支援を目的とした就職セミナーを合計2回開催した。参加企業および学生からのアンケート結果によると、全体的に高い満足度が得られた。 【改善等】参加学生数は少なくはなかったものの、参加者の所属大学に偏りがみられたため、来年度はより多くの大学からの参加者を増やす施策を検討し、さらに充実したセミナーとなるようにする。
2-12	・地域交流イベント 相模原・町田地域における学生、地域住民、企業等の交流を目的としたイベントを大学等、自治体、事業者等が共同で企画又は実施する。	和泉短期大学	1件／年度	1件／期間内	A	【内容、理由】「防災展示イベント」を2026年7月で実施した。 【改善点等】まち・みどり公社を通して相模原市からお借りしていた展示会場（淵野辺公園・銀河アリーナ跡地）が閉鎖となり来年度以降使用できなくなった。2027年度はユニコムプラザにて7月に開催予定。